

はじめに

我が国では、超高齢社会へ急速に向かう中、また厳しい経済状況下の中、多種多様な生活・福祉課題が生じてきております。

地域の中では、核家族化や近隣の方々との関わりの希薄化により、不安や孤独感を抱え、さびしい思いで生活を送っているひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等が増加し、孤独死などが大きな社会問題となっております。

地域の問題は、まず地域の中で考え、地域住民どうしがともに支えあい助けあう“共助”によって解決策を講じていくことが大切であり、地域住民の一人おひとりが、地域の問題は自らの問題と捉えていただくことこそが、住みよい地域社会を形成する第一歩となります。

宇都宮市社会福祉協議会では、地域福祉を推進する団体として、地域の生活・福祉課題の解決のために、また効果的に地域福祉を推進するために、平成17年度に「宇都宮市地域福祉活動計画」を、平成22年度に「第2次宇都宮市地域福祉活動計画」を策定しましたが、この度、第2次計画の期間が終了することから「第3次宇都宮市地域福祉活動計画」を策定しました。

今後は、本計画に基づき、市が策定した「第3次宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進計画」と連携を図りながら、地区社会福祉協議会、自治会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター等関係機関・団体が連携・協働し、ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣”の地域社会の実現を目指していく所存でございますので、市民や関係機関・団体等の皆様には、より一層のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、アンケート調査や住民意見交換会等で、貴重なご意見やご提言をいただきました市民の皆様や、ご支援、ご協力をいただきました関係機関・団体等の方々に、心から感謝を申し上げます。

平成25年3月

宇都宮市社会福祉協議会
会長 小林 辰 興

